

社友会だより

第 11 号

発行 センツウ社友会
住所 東京都港区赤坂 2-4-5
〒107-0052 (国際赤坂ビル 3F)
ドコモ・センツウ株式会社社内
編集者 大場 省平

❖ 第 19 回社友会定期総会開催 ❖

平成 18 年 7 月 22 日、土曜日 12 時から東京銀座のラフィナートに於いて、第 19 回センツウ社友会定期総会が開催されました。



本総会には会社から富岡社長、原田常務、戸澤監査役、正田総務部長、山本担当部長のご出席頂き、総勢 60 余名となりました。

会議に先立ちまして、司会者の鱒淵理事から今期お亡くなりになった 2 名のお名前を読み上げ、出席者全員により黙祷をささげ、ご冥福をお祈りしました。

開会にあたり、法安会長から次のとおり挨拶があった。うっとうしい梅雨が続く中、各地で豪雨の惨禍が報じられており、会員の方に被害が無ければよいかと案じております。

このような中、本日、ご出席賜り有難うございました。

諸先輩をはじめ、皆さん方のお元気なお姿を拝見し、嬉しく存じます。又、会社からは、富岡社長をはじめ、幹部の方々のご臨席を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

会の運営につきましては、会員の皆様、会社を問わず、日頃からご指導、ご協力を頂いておりますこと心からお礼申し上げます。

お蔭様で、会の運営も軌道に乗りつつあります。これからも、この状態を発展させることは勿論、とりわけ、私の念願であります各地域との交流、つまり社友会全国区の定着を目指して更なる努力を傾注して参りたいと存じます。

最近のデジタルカメラクラブの発足は、明るいニュースです。その他の分野での誕生が期待されます。

とにかく、楽しい社友会にしなければなりません。皆様の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

本日は、懸案の「総会開催の時期」についてお計りしますので、忌憚のないご意見を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健康とご多幸を祈念致しまして、ご挨拶と致します。

会員数 180 名を突破しました。
住所変更は事務局までお知らせ下さい。

❖ 富岡社長のご挨拶 ❖

皆様、6 月 16 日センツウの株主総会に於いて芝尾社長から引継ぎ社長に就任いたしました富岡 齋でございます。宜しくお願い致します。



前任は、ドコモ東北の社長として東北 6 県を管轄していましたが、センツウは、北海道から九州沖縄まで、大変幅広いエリアをカバーして社業を営んでおり大変ですが、ある面では楽しみがあります。

この中でコアビジネスであります衛星電話サービス事業を如何に発展させるか、或いは新しい事業である

ドコモショップ事業、国際ローミング事業に、どう取り組んで行くか、あれこれと考えながらこの 1 ヶ月、北海道と東北の船舶電話設置及び保守を依頼している代理店様、また、大口ユーザー様を少しずつ廻り始めております。

初めての分野ですので一生懸命勉強したいと考えておりますので、諸先輩の皆様方のご指導をお願いしたいと思っております。

私は、鳥根県の松江の出身ですが、北海道小樽から熊本まで転勤し、今回で 20 回目となり節目と思っています。

海と空のサービスは、大変おもしろいと思っておりますが、携帯電話の普及に伴い、衛星電話のお客様が減ってきております。これからは海の IT 化が大きな課題となって来るだろうと考えますが、衛星をかまして、どのようなサービスが提供できるか新しい時代に向けて、センツウのコンピタンスをどのように繋いで行くかが大変だろうと思っております。

3 次に亘る業務改善計画も山場を越え、お蔭様で 17 年度の経常利益も 9 億円を超えて増収・増益で御座います。しかし、ドコモグループの傘下となりましたが、グループを取り巻く環境は大変厳しくなってきました。携帯電話の番号を変えずに契約事業者を替えられるサービスが 10 月から始まります。また、新規事業者も参入して、固定と携帯の融合、放送との融合等、私たちの経営環境も大きく変わり、厳しさも増します。これまでの地域での経験を生かしながら、どのように舵を取っていくか、ご指導を頂きながらマーケットの開拓も一生懸命進めて参りたいと思っております。お客様が大好きですので、何処でも出

かけて行きます。

200億円の収益中、7割が全国16店舗のショッ
プの売上げで占めています。これからは、海の世界で
も契約数の減少に歯止めをかけて伸ばして行きたいと
思います。

海は、政治情勢により大変厳しいものがありますが、
新しい利用方法等を考えながら、事業運営を行って行
きたいと思っておりますので、何卒宜しくご指導頂き
たいと思います。

今日は、第19回社友会定時総会が盛況であります
よう祈念して挨拶と致します。

早速、沖本議長から議事に入る旨を宣言し、議案の
審議に入りました。

(議案)

- (ア) 平成17年度事業報告承認の件
- (イ) 平成17年度会計報告承認の件
- (ウ) 平成18年度事業計画(案)承認の件
- (エ) 役員選任の件
- (オ) その他

上記の議案について、長谷川事務局長が説明及び報
告、清水監事が17年度監査報告を行い、満場一致を
もって承認されました。

その他、事務局に提案がありました定時総会の開催
時期(9~10月にできないか)についてご意見をお
聴き致しました結果、現在の開催時期である7月は、
会社の総会直後であり決算状況や人事等を、より速く
知ることができること、また、12月の創立記念日と
の関係から7月は中間の時期であり、的を得ているの
ではないか等のご意見があり、総会では結論が出ず、
継続審議とし、引き続き会員からの意見を募ることと
なりました。

❖ 懇親会の開催 ❖

総会終了後、記念撮影に続き、懇親会を開催した。



富岡新社長の乾杯により開
宴となりました。

1年振りでお逢いする
方、新しく入会された方、
また、遠方から元気なお姿
を見せて下さった方々が、
話しに花を咲かせておりま
した。

デジカメ愛好会の方が活動
記録の写真を披露する等、

楽しい会となりました。

中締めは、益々お元
気な山根さん恒例の万
歳三唱にてお開きとな
りました。

来年も元気で再会で
きますよう念じており
ます。



❖ 関西・九州地区役員の増員決定 ❖

地域担当連携強化を図るため、関西地区及び九州地
区に2名の役員を置くこととなりました。

新たに選任されました役員は、次のとおりです。

- 関西地区 理事 村上 功氏、
- 九州地区 理事 金重 寛氏

❖ 社友会役員の主な担務 ❖

18年度の社友会役員及び担務は次のとおりです。

(平成18年7月22日現在)

- 会 長 法安忠美
- 副会長 沖本良平〔中央以東地区担当・事務局支援・レク関係〕
- 副会長 高島市郎〔関西地区担当〕
- 副会長 木本浩二〔九州地区担当〕
- 理 事 鱈渕文男〔地区連絡・会員担当〕
 - 〃 佐々木正明〔庶務(事務局支援)・別途依頼事項〕
 - 〃 森 彦〔渉外・会費徴収〕
 - 〃 大場省平〔会報編集長・事務局支援〕
 - 〃 長谷川英夫〔事務局長・会計・会費〕
 - 〃 大和田輝彦〔渉外(会社との意思疎)会費徴収・会員〕
 - 〃 村上 功〔関西地区担当補佐〕
 - 〃 金重 寛〔九州地区担当補佐〕
- 監 事 清水高春〔会計監査・別途依頼事項〕

❖ 会社の情報 ❖

会社の主な部門・店所等は次ぎのとおりです。

○本社 (平成18年7月末現在)

- | | | |
|--------------|-----|-------|
| 営業本部 | 本部長 | 平野 昌明 |
| 衛星ビジネス部 | 部 長 | 原田 智員 |
| 法人営業部長 | 部 長 | 富沢 進一 |
| 衛星電話カスタマセンター | 所 長 | 勝又 幹男 |
| サービス開発部 | 部 長 | 齋藤 幸賢 |
| 携帯ビジネス部 | 部 長 | 瀬林 義昭 |
| 国際ビジネス部 | 部 長 | 時田 隆 |
| 情報システム部 | 部 長 | 泉 英二 |
| 経理部 | 部 長 | 佐野 勉 |
| 経営企画部 | 部 長 | 小熊 利明 |
| 業務改善推進室 | 室 長 | 菅野 克明 |
| 総務部 | 部 長 | 正田 健一 |

○支店及びDS

- | | | |
|----------|-----|-------|
| 北海道支店 | 支店長 | 齊藤 健三 |
| DS 創成川通店 | 店 長 | 五十嵐公夫 |
| 東北支店 | 支店長 | 牧野 幸雄 |
| DS 仙台中野店 | 店 長 | 日吉 利治 |
| 首都圏支店 | 支店長 | 松原 繁弘 |
| DS 蕨東店 | 店 長 | 園田 敏雄 |
| DS 大手町店 | 店 長 | 森 勝弘 |
| DS 青葉台店 | 店 長 | 曾根 清 |
| 東海支店 | 支店長 | 高橋 利彰 |
| DS 宇治山田店 | 店 長 | 北川 道晴 |
| 関西支店 | 支店長 | 菅原 和夫 |
| DS 福島店 | 店 長 | 松浦 静加 |
| DS 金沢南店 | 店 長 | 橋爪 伸夫 |
| 中国支店 | 支店長 | 浜田 治 |

DS倉敷中庄店	店長 山本 勝巳
四国支店	支店長 平林 正夫
DSしまなみ店	店長 玉井 豊夫
DSきさいや店	店長 松下 康雄
九州支店	支店長 松本 晃雄
DS折尾中央店	店長 遠山 栄助
DS佐伯店	店長 橋之口 功
DS壺川店	店長 樋口 敏之
WC成田店	店長 菊池 努
WC中部店	店長 八尾 隆
WC関空店	店長 藤原 幸夫

◆ 会員情報 ◆

* 囲碁と私 *

囲碁で余暇を満喫 大塚伸興さん

私と囲碁の係わりは、約40年と長いこととなっています。

船舶通信にお世話になりまして間もなく覚え、その



魅力にとりつかれたと記憶しております。

20歳代の後半から30歳代後半にかけて最も熱中しており、当時「市ヶ谷」にある日本棋院の本部へ囲碁の勉強によく行きました。

囲碁に関する定石書等もこの頃はよく読み勉強したものです。

当時の船通本社は、囲碁を楽しむ人が相当おり、私の昼休み時間は、囲碁に集中しておりました。

転勤により、職場に囲碁の相手がいない時は勤務地の碁会所へ行きよく打ちました。

定年退職後は余暇時間の内、相当部分は囲碁に費やしております。

現在、地域にある二つの囲碁クラブに所属し楽しんでおります。

お陰様で最近では、相応腕をあげて囲碁クラブの中心はそれなりの存在となっ



ております。

囲碁クラブでは、仲間と一緒に合宿と称して一泊で温泉地に出かけることもあり、囲碁と旅を楽しんでおります。

地域の囲碁クラブとは別に、NTT OB会の囲碁愛好家グループにも参加し、この皆様と年2回の囲碁旅行を楽しんでおります。

囲碁は少人数でも楽しめる頭の要する競技なので「ボケ」の予防にもなり、また、努力すれば上達しその成果が大会の表彰という結果を生む楽しみがあります。

囲碁の一番よいところは、ルールが明確であり、皆さんが平等であることです。指示、命令がなく自分の意思が充分発揮され、自由であることが楽しいです。

私の近況より

◆ 地域活動情報 ◆

* 九州社友会親睦旅行

阿蘇内牧温泉にて開催 *

平成18年5月23日から24日にかけて第3回九州社友会親睦旅行を阿蘇内牧温泉にて実施しました。

宿は昔ながらの瀟洒旅館で、沸かしなしの天然温泉のかけ流し、露天風呂と料理が自慢の宿で湯治に来たようなゆっくりとした時間の中で、命の洗濯をしてきました。

参加者は、今回新しく藤野、下村の2名が加わり、総勢10名による親睦旅行となりました。



当日の参加者は、木本、奥原、村上、横溝、濱本久保、松崎、藤野、下村、金重です。

当日は、生憎朝から小雨模様で、第1の集合地「大観峰」では4名が集合しましたが、一面ガスに覆われ雄大な阿蘇五岳や、阿蘇盆地は見る事ができませんでした。第2集合地、「阿蘇仙酔峡」では総勢9名となりました。

この時期阿蘇一帯は、ミヤマキリシマが満開となるシーズンで、天候が心配されましたが、薄日がさすほ



どの天気となり、ミヤマキリシマが群生して一面ピンクの絨毯を敷いたように咲き誇り、改めてその雄大な美しさに感動しました。

宿では、地元の食材を利用した食べきれないほどの品が並び、アルコールを片手に昔話に花を咲かせました。

皆さん年を重ねるごとに、口数は体力と反比例するようで、にぎやかな宴となり、延々と深夜近くまで語っていました。

翌日は久しぶりの五月晴れに恵まれ、さらに自然を探求する人、阿蘇の大自然の中でゴルフに興ずる人、ドライブする人に別れ、それぞれ思い思いのひと時を過ごすこととし、またの再会を約束して散会しました。

レポーター 金重 寛さん

* デジカメ愛好会 活動開始 *

平成18年4月9日、第1回デジカメ愛好会を東京江東区にて開催した。

同愛好会は、昨年の社友会総会時に、大野 宏さんからご提案頂き、清水高春さんのご尽力により、開催することができました。

開催当日は、JR 総武線の錦糸町駅前に11時30



分に集合、幹事役の清水さんから、コースと休憩場所の説明があり出発した。メンバーは、沖本さん、大野さん、林さん、水谷さん、鈴木勝男さん、鈴木弘さん、渡辺さん、幹事役の清水さんと大場の9名です。

コースは、錦糸町駅を出発、猿江恩賜公園、横十間川の遊歩道を南に下り、東陽町にて右に折れ、仙台堀川岸を木場公園に向け歩き、富岡八幡宮にて参拝、隣の深川不動を参拝の後、懇親会を開催し解散することとなった。

錦糸町駅を11時35分に出発、途中のコンビニにて弁当と飲物を購入、恩賜公園には11時50分に到着した。公園内の桜の花も散らずに待っていてくれたように満開であった。参加者全員が撮影を行った。大判のカメラを持参した方また、日本初のデジタルカメラを持参された方等で昼食・休憩時にカメラ談義となった。

12時25分出発、横十間川岸（遊歩道）を南下、川面に写る山桜が若葉に映えて何と美しいことか。その



水面には鴨が泳ぎ、特に白黒の体をした「キンクロハジロ」は多くの仲間を連れて水辺に浮かぶ姿は春の季節を

充分演出してくれ、皆シャッターを切りました。

仙台堀川に到着、右に折れて木場公園を目指す。

この辺は昔から材木屋さんが多くあった場所で、水路が発達していたが、現在は材木屋さんが移転となり、水路の周りを遊歩道が造られ、近くの住民の憩いの場所となっている。木場公園で休憩の後、富岡八幡宮に向かう。

富岡八幡宮ではがらくた市が開かれていて、大勢の人で賑わいを見せていた。

八幡宮を参拝後、しばし市をのぞいたりしながら、隣の深川不動



尊に向かう。深川不動尊は、成田新勝寺東京別院深川不動堂と言われ、千葉県成田山に詣でることが時間的にできない江戸の人達のために、深川に別院を設けたとも言われている。参道にはお菓子屋さん、お煎餅屋さん、薬の漢方屋さん並び、下町情緒豊かな場所となっている。

参拝後、懇親会の場所探しを開始、居酒屋（万表）に落ち着きました。

天候に恵まれたこと、下町の春を満喫できたこと、また、皆さんにお逢いできたこと等で、今後も続けて開催することを誓い散会しました。

その後の愛好会は、新宿御苑、群馬県の尾瀬沼、と第3回まで開催しております。

是非、皆さんも参加しては如何でしょうか。

レポーター S.O

《社友会に対するご意見・ご要望を お寄せ下さい。》

- 連絡先 社友会事務局
住所 東京都皆地区赤坂2-4-5（国際赤坂ビル）
ドコモ・センツウ(株) 総務部内
長谷川英夫 事務局長
電話 03-5114-7550 FAX 03-3224-1002

次回の「社友会だよりは11月号となります。